

事業所名		じょいん～生きるちから～						支援プログラム				作成日		2024	年	11	月	1	日
法人（事業所）理念		私たちの願いは、子どもたちが 「自分ってけっこういいな」と感じられる心を育むこと。 どの子どもみんな、世界で唯一無二の大切な存在です。 “できるかも” “もう一回やってみよう” “前より上手になった” ーー そんな前向きな気持ちを一つひとつ大切に重ねていきます。 安心できる居場所の中で、 自分らしさを力に変えて社会へはばたいていけるよう、ともに歩みます。																	
支援方針		私たちの支援は、 まず子ども一人ひとりの存在を大切に受け止めることから始まります。 「教える」「一緒にやってみる」。 子どもの気持ちやペースに寄り添いながら、安心して挑戦できる関わりを心がけます。 うまくいかないときは方法を変えてもう一度。 できたときは一緒によろこぶーー その積み重ねを通して、生活や学びにつながる力を育てていきます。																	
営業時間		平日	10	時	00	分	から	18	時	00	分	まで	送迎実施の有無	あり					
		学校休業日	9	時	00	分	から	17	時	00	分	まで							
		支 援 内 容																	
本人支援	健康・生活	利用児童一人ひとりの健康状態や生活リズムに配慮し、安心して日常生活を送ることができるよう支援を行う。 来所時の体調確認や生活習慣への働きかけを通じて、基本的な身辺自立や生活スキルの定着を図るとともに、清潔保持や安全意識の向上を支援する。 また、家庭との連携を図りながら、児童が安定した生活リズムを身につけられるよう支援する。																	
	運動・感覚	児童の発達段階や特性に応じた運動活動や感覚遊びを取り入れ、身体の使い方や感覚統合を促す支援を行う。 遊びや活動を通じて、姿勢保持、バランス感覚、巧緻性の向上を図るとともに、過度な緊張や感覚過敏への配慮を行い、安心して活動に参加できる環境を整える。 無理のない範囲で成功体験を積み重ね、身体を動かす楽しさを感じられるよう支援する。																	
	認知・行動	日常生活や活動の中で、見通しを持って行動できる力や、状況に応じて適切に行動する力の育成を支援する。 スケジュールや視覚的支援を活用し、理解しやすい環境を整えることで、混乱や不安の軽減を図る。 また、望ましい行動を肯定的に評価しながら、自己調整力や問題解決力を身につけられるよう支援する。																	
	言語 コミュニケーション	児童の発達段階や特性に応じた方法で、気持ちや考えを表現する力、相手の話を理解する力の向上を支援する。 言葉によるやり取りだけでなく、視覚的手がかりや非言語的コミュニケーションも活用し、意思疎通の成功体験を積み重ねる。 日常の関わりを通じて、安心して自分の思いを伝えられる環境づくりを行う。																	
	人間関係 社会性	集団活動や日常の関わりを通じて、他者との関係づくりや社会的なルールの理解を支援する。 順番を待つ、相手の気持ちを考える、協力して活動するなどの経験を重ねながら、対人関係に必要な力を育む。 児童一人ひとりの特性に配慮し、無理のない関わり方を大切にしながら、社会参加への意欲を高める支援を行う。																	

家族支援	児童の成長と安定した生活を支えるため、家族との連携を大切にした支援を行う。 日々の支援内容や児童の様子について情報共有を行い、保護者の不安や悩みに寄り添いながら、必要に応じて助言や相談対応を行う。 また、家庭での関わり方や生活上の工夫について共に考え、保護者の負担軽減や安心につながる支援を目指す。	移行支援	児童が次の生活段階へ円滑に移行できるよう、将来を見据えた支援を行う。 進級や進学、学校生活の変化等に伴う不安や課題に配慮し、必要に応じて学校や関係機関と連携を図りながら、環境の変化に適応できる力を育む。 また、児童一人ひとりの成長や発達状況に応じて、生活面・行動面・対人面での自立に向けた支援を行い、次のステップへ安心して進めるよう支援する。
地域支援・地域連携	地域の関係機関や資源と連携し、児童および家庭を支える支援体制の構築に努める。 学校、医療機関、相談支援事業所等と必要な情報共有を行い、児童の状況に応じた切れ目のない支援を目指す。 また、地域の行事や活動への参加機会を通じて、地域とのつながりを感じられるよう配慮し、社会参加の促進を図る。	職員の質の向上	事業所では、児童一人ひとりに適切な支援を提供するため、職員の専門性および支援力の向上に努めている。 日常の支援を通じた振り返りや情報共有を行うとともに、研修や会議等を通じて支援方法や対応力の向上を図る。 また、法令や制度への理解を深め、児童の安全確保および支援の質の維持・向上につながる体制づくりを行っている。
主な行事等	季節や児童の興味・関心に応じた行事や活動を取り入れ、日常支援とは異なる経験を通じて成長を促す。 行事を通じて、集団での活動経験や社会的ルールを理解、達成感や楽しさを味わう機会を提供する。 児童一人ひとりの特性や体調に配慮し、無理のない参加を基本としながら、安心して活動できる環境づくりを行う。		